



## 令和5年7月11日～13日前線による大雨での 梯川の出水概要並びに金沢河川国道事務所の対応について

- 令和5年7月11日から13日かけて、雷を伴う激しい雨が降り、一部地域で線状降水帯が発生する等石川県で大雨となりました。このため金沢河川国道事務所では、防災体制に入り関係機関と連携をとりながら対応にあたりましたので、出水概要、金沢河川国道事務所の河川関係の対応、治水事業の効果についてとりまとめました。
- これらの取りまとめ結果について、本日25日16時より当事務所ホームページに掲載致しますのでお知らせします。

### 【出水概要・河川関係の対応の主なポイント】

- 梯川では、<sup>はねだ</sup>埴田水位観測所（小松市<sup>はねだ</sup>埴田町）において、氾濫注意水位を超過し、観測史上27位水位（3.34m）を記録。
- 石川県において線状降水帯が発生、津幡町の要請により排水ポンプ車を出動させ、緊急排水活動を実施。

### 【治水事業の効果】

- 梯川と支川前川の合流部の前川排水機場では木場湯約4杯分の約430万 m<sup>3</sup>の排水を実施、浸水被害の拡大を防止。
- 赤瀬ダムでは、洪水調節によりダムがない場合の想定水位から約79cm 水位を低減、浸水被害の拡大を防止。

詳細については、金沢河川国道事務所ホームページに掲載しました。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>



### 【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所  
流域治水課長 氏名 <sup>きたむら</sup>北村 <sup>ひでゆき</sup>秀之  
Tel：076-264-9910（流域治水課 直通）